

第6回香川県がん診療連携協議会議事要旨

- 1 日 時 平成 25 年 6 月 28 日（金） 16:00～17:40
- 2 場 所 香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 事

鬼村香川大学医学部医事課長（以下、鬼村課長という。）から、香川県がん診療連携協議会設置要綱第5条に基づき、本協議会会長の千田香川大学医学部附属病院長（以下、千田議長という。）が議長となり、本協議会の議事を進行することとする旨説明があった。

議事に先立ち、千田議長、及び本協議会委員を代表して森下香川県医師会長から挨拶があった。

千田議長から、本日の協議会は、部会長を交えての会議である旨説明があり、了承された。

千田議長から、議事を審議する前に第5回香川県がん診療連携協議会議事要旨について、資料1を確認していただきたい旨発言があり、原案どおり承認された。

（報告事項）

1 第6回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会について

鬼村課長から資料2に基づき、平成25年5月27日国立がん研究センターにて開催された「第6回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会」、特に重点的に取り組むべき3点①がん患者の就労に関する総合支援事業、②緩和ケア推進事業、③がん相談支援センター名称変更について、及び、緩和ケア部会設置等について報告があった。

青江委員（香川県立中央病院）より、禁煙推進行動計画について拠点病院における具体的な行動目標について質問があった。合田委員より拠点病院において望ましい禁煙活動である禁煙外来、クイットライン、喫煙防止教育について説明があった。寛委員より、拠点病院の役割として、中心となって禁煙活動を進めて行く旨の発言があった。

寛委員より、就労支援活動における社会保険労務士を派遣について、予算措置について質問があった。合田委員より、予算としては200万程度で非常に少額であるが、香川県と共同して事業を展開する予定である。土岐課長（香川県）より就

労支援事業の内容について、専門家派遣事業の説明があった。

2 香川県がん診療連携協議会各部会からの報告

(1) 地域連携・パス部会からの報告

青江部会長から資料3に基づき、前立腺がんパスの承認依頼、ご意見を頂く期間を経て後日HPにて公開の予定である旨説明があった。五大がん地域連携パスの24年度運用状況、五大がん地域連携パスの適用拡大に関する課題・問題点等、報告があった。25年度の予定として、前立腺がんパスについて広報、市民公開講座開催、拠点病院間におけるかかりつけ医情報の共有、患者必携の改訂の必要、医療情報ネットとの連携等について報告があった。

千田議長より、全国的に比較した場合に、香川県の実績について質問があり、青江部会長より、実績数の多い施設ほど、データを公表している傾向があり、その中では香川県の実績は少ないのではないかと思われるとの説明があった。

筧委員より、地域連携に関して実績のある労災病院から運用方法等をご教示いただきたいとの提案があり、多田委員(労災病院)より関連医療機関への協力依頼の説明、システム等様々な要因が重なっている旨説明があった。

千田議長より、対象疾患が変わっても連携を持続するシステムが確立している旨発言があった。

川上委員(県立中央病院)より、患者必携はよく利用されているので引き続きお薦め頂きたい旨発言があった。

(2) 院内がん登録部会からの報告

合田部会長より、資料4に基づき、実務者会と実務者資質向上、院内がん登録件数、地域がん登録届出件数、がん登録の法制化、今後の予定について、香川県と全国集計はほぼ同じである、旨報告があった。

予後の遡り調査については、有料の市町村もあり、調査費は国立がんセンターが立て替えて、各拠点病院に請求するとの補足説明があった。

(3) 緩和医療・相談支援部会からの報告

吉澤部会長に替わり中條副部会長から、資料5に基づき、24年度取り組み、緩和ケア研修会、拠点病院+平和病院の緩和ケアチームの24年度実績、がん患者ニーズ調査結果、がん患者団体等ネットワーク連絡会、中四相談支援フォーラム、講演会について報告があった。

合田委員より資料5-2に基づき、在宅緩和ケア専門部会について、設置と委員人選、平成25年6月12日専門部会開催と、WG進捗状況、今後の予定について報告があった。

千田議長より、医療機関等のデータベースは拠点病院間で共有できるかどうかとの質問があった。合田委員より現状では拠点間の共有は出来ていないので共有すべく検討している。公開するデータベースは公表可能なデータを医師会、厚生支局から頂いている旨回答があった。

(4) 研修・教育部会からの報告

寛部会長から資料6に基づき、「中国四国高度がんプロ養成基盤プログラム(新がんプロ)」、がんに特化した講座新設、e-ラーニングクラウドについて説明があった。及び平成24年度開催された拠点病院セミナー、研修、カンファレンス、キャンサーボード、今後の取組について報告があった。

千田議長より、放射線治療専門医が平成25年7月1日日本専門医制評価・認定機構において専門医として認定された旨発言があった。

(5) 情報・広報部会からの報告

合田部会長より資料7に基づき、拠点病院の広報状況について、望ましい広報項目について一層の努力をお願いしたい旨説明があった。協議会、相談支援センターの広報HPについて、医療機関以外での広報活動等について説明があった。

3 第2次香川県がん対策推進計画

土岐委員より、別冊資料第2次香川県がん対策推進計画に基づき説明があった。合田委員より、チーム医療の体制整備について、現状0施設となっているが、何をもって体制整備されたことになるのか質問があった。岡野副主幹(香川県)より、国の要件指定を待っている状態であるとの回答があった。

4 香川県がん診療連携拠点病院等への専門家派遣事業

土岐委員より、別添資料に基づき、専門家派遣事業について説明があった。社会保険労務士、美容師、音楽療法士、折り紙講師の派遣について計画しているが、それ以外の専門家についても考えていきたい。

青江委員より、禁煙支援士(心理士、ケースワーカー)を拠点病院に配置する予定はないか、質問があった。土岐委員より、この事業はがん患者を対象としてあるので、一般の禁煙指導については相談の必要があるとの回答があった。

川上委員(県立中央病院)より、拠点病院だけでなく、かかりつけ医や在宅の先生方の取組に対する協力も必要ではないか。また、がん教育のところで、小児のがん患者を受け入れる側の教育も必要ではないか、発言があった。土岐課長(香川県)より、これらの事業は対象を拠点病院だけに限ったものではないので、その都度相談して頂ければ検討していく旨回答があった。

(審議事項)

1 緩和医療・相談支援部会分割について

合田委員から資料8に基づき、今年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会において緩和ケア部会が設置されたことから、本協議会においてもより柔軟な対応がとれるよう、緩和医療部会と相談支援部会を分割するものである旨説明があった。部会設置申し合わせの変更、分割後の各部会員、部会長は、緩和医療部会：細川先生(三豊総合病院) 相談支援部会：吉澤先生(高松赤十字病院)とする旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2 がん医療の広報について

合田委員から資料9に基づき、香川県内もれなく広報を進めていく必要があり拠点病院連名での広告の必要である旨説明があった。申し合せ案、拠点病院連名広告について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。